

ベリタス病院 NEWS



2010年5月号(No.100)

就任のごあいさつ

5月1日より、副院長に診療部長の片岡医師が、看護部長に副看護部長の蔵本が就任することとなりましたのでごあいさつ申し上げます。



新副院長 片岡伸一

このたび副院長を命じられました片岡伸一です。
当院はこれまでも地域の皆様方から信頼できる病院として親しんでいただきましたが、今後も皆様が生命と健康を安心して任せられる病院として、また川西市救急医療の中核拠点として発展していくために努力してまいります。
副院長としての重責を感じておりますが、辻村院長、横田副院長と力を合わせ、鋭意専心、地域医療の発展のために努力いたします所存です。
今後ともご指導ご支援のほど、心からお願い申し上げます。



新看護部長 蔵本里美

5月1日付で看護部長に就任しました、蔵本里美と申します。ベリタス病院で、前看護部長の下、約1年半副看護部長を勤めさせて頂きました。若輩ではありますが看護部長として、職務を邁進していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。
さて看護部は、病院の理念に基づいて、地域の皆様に信頼・愛される病院を目指し、「安全で質の高い看護サービスを提供出来る」ように看護師の教育・育成(院内教育・院外研修の積極的参加の推進)にも力を注いでいます。
地域の皆様に選んで頂けるような病院作りに、微力ながら貢献したいと思っております。

5月20日(木) 猪名川ジャスコで健康フェアを開催!

5月20日(木) 猪名川ジャスコ3Fフードコート前特設会場において「ベリタス病院健康フェア」と題して、医療講演会や健康チェック、体力測定などを行います。是非お越しください。

【開催日時】

平成22年5月20日(木) イオンお客様感謝デー 10:00~16:00

【場所】

イオン猪名川ショッピングセンター 3F フードコート前特設会場

【内容】

- ◆医療講演 11:00~ 「内視鏡について」 … 内科医師 上野圭介
- 14:00~ 「循環器について」 … 循環器科部長 辻本充
- ◆栄養講座 「減塩について考えよう」 … 管理栄養士
- ◆健康チェック (血圧測定・肺年齢測定・骨密度測定・体脂肪測定・アルコールパッチテスト)
- ◆体力測定 (握力測定・片足立ち時間測定)
- ◆AED(自動除細動器)講習会



循環器科より

座談会

平成22年2月28日、座談会「心筋梗塞再発予防を見据えた糖尿病治療戦略ー早期介入の重要性ー」が東京で開催され、私もメンバーの一人として参加してきました。座談会では、生活習慣病と循環器疾患との因果関係、大規模試験の検討、治療介入による長期予後の検討など、たくさん話題についてディスカッションをしました。この内容については、本年3月発刊の医学雑誌「Diabetes & Cardiovascular Disease No.4」（メディカルレビュー社）に掲載されています。

現在、日本循環器学会後援のもと、日本人における糖尿病の早期治療導入の重要性について検討することを目的とした大規模臨床試験が全国的に行われており、その試験には当院も参加しております。これからも質の高い医療を皆様にご提供できるよう努力して参りますので、これからもよろしくお願い致します。

コメンテーター

平成22年4月10日、第9回兵庫ライブデモンストレーションが開催されました。ライブデモンストレーションとは、心臓血管疾患の実際の治療場面を会場スクリーンに中継して、治療方法についての討論や、先進技術の情報提供をすることを目的に行われています。今回、PCI（経皮的冠動脈インターベンション）部門では、私もコメンテーターとして討論に参加し、安全な心臓血管治療を行っていくうえでの必要な意見交換をしてきました。今後も当院での治療に役立てて行けるよう、幅広く情報を採り入れて行きたいと考えています。

循環器科部長 辻本充

新入職員ごあいさつ

ベリタス病院に入職してから1ヶ月がたち、放射線科の方々や病院職員の方々に親切にご指導していただいているおかげで、入職前に感じていた不安は少しずつ無くなってきました。しかし、一人前に仕事を出来るようになるのか不安に思うこともあります。この不安を減らす為に、まずは一般撮影を一人前に撮影できるようになりたいです。早く、正確に必要な画像を撮影できるような技術を身につけることで、一人前の放射線技師に近づき、患者様や病院の役に立てるようになりたいと思います。

放射線科 土肥克嘉



4月から新人看護師として入職しました。学校を卒業し社会に出て学生気分も抜け、慣れない環境のなか毎日を過ごしています。

4月は研修で各病棟のスタッフの方やコメディカルの方に来ていただき講義や演習を中心に学んでいます。その中で現場に出ないと分からないことや、学校では習わなかったこと、最新の情報など、いろいろ教えていただけるので日々、新たな発見があり、より深い知識を得ることができ、よい学びとなっています。

スタッフの方も皆さん優しく丁寧に教えてくださりいろいろとフォローしていただけて安心して学ぶことができています。

実際に5月から本格的に病棟へ出て研修になりますが先輩に少しでも早く追いつき、患者様から信頼していただける看護師になれるよう同期のみなんで一生懸命、頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

看護部 松川雅美

私が理学療法士を志望したきっかけは、中学時代、バスケットボール部に所属していた時に膝の靭帯を負傷し、リハビリを経験した事でした。その時に初めて理学療法士の方と出会いました。本当に明るくて、そして優しく、辛い時や焦っている時にはそっと私に寄り添い1日でも早く復帰できるよう、努力してくださいました。

この貴重な経験が理学療法士を知るきっかけとなりました。私は明るいところが長所だと思っていますので、患者様が「今日もリハビリを頑張ろう。」そう思って頂ける様に、いつも明るく笑顔で、そして辛い時に寄り添える理学療法士を目指して頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

リハビリテーション科 山下翔子

入職してから1ヶ月がたちました。宮崎から兵庫へ来て右も左も分からないことや、看護師として働くことなど不安は多く有りましたが、今は寮周辺くらいの土地には慣れ、新しい仲間と研修に取り組み毎日が充実してきました。研修では講義をして頂き、看護師として働く為の基礎を習い、看護技術の演習ではペアやグループで練習を行い、援助する難しさや援助されることで患者様の気持ちを理解することが出来ました。

これらの学びを生かし、5月からの病棟研修では、患者様の立場に立ち、患者様に満足して頂ける看護を提供していけるよう努力していきますのでよろしくお願い致します。

看護部 田中博己



～今が旬の魚～

サワラ



どんな魚？

体長が1m以上にもなる大きな魚です。胴体が細長く、『狭い腹』から『狭腹』(サワラ)となったそうです。背の部分に多数の青褐色の斑紋が並んでいるのが特徴です。北海道南部からオーストラリアにかけて分布し、5月～6月にかけて産卵のため外洋から瀬戸内海などに入ってきます。

サワラは出世魚で、関東などでは約50cmを境に小さいものを「サゴチ」、大きいものを「サワラ」と呼びます。一方関西では「サゴシ」→「ヤナギ」となり、さらに70cm以上になったものをサワラと呼びます。

おいしいのは？

春が旬の魚なので「鱈」と書き、俳句でも春の季語として使われます。サワラは晩春から初夏にかけて産卵のため瀬戸内海に押し寄せてきます。この時期、土佐に始まり和歌山や岡山などの地域で豊富に獲れるため、関西では4月末～6月末が旬となっています。しかし関東では、寒鱈と言われ産卵期前の脂がのった1月～2月の真冬が旬とされています。

調理のポイント

身が非常に軟らかく身割れし易いので扱いに注意が必要です。

- 皮と身の間に独特の香りとうまみがあります。皮の歯ごたえと身の柔らかさを活かすためには刺身の場合でも、皮をつけたまま切るのがおすすめです。
- 焼く場合は身が柔らかいので、軽く塩を振って締めてから焼くと扱いやすくなります

栄養成分

- DHAやEPAを多く含みます。
- 良質のたんぱく質を多く含みます。
- カルシウムの吸収を促進する効果のあるビタミンDを多く含みます。

サワラ(生)100g当り

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	飽和脂肪酸	不飽和脂肪酸
177kcal	20.1g	9.7g	0.1g	2.14g	5.56g

五訂 日本食品標準成分表

※DHA・EPA…不飽和脂肪酸の一種で、血液中の悪玉コレステロールや中性脂肪を減らし、善玉コレステロールを上昇させる作用があります。

旬の食材「サワラ」と「ゴボウ」を使って美味しく

材料～4人分～



サワラ	250g
酒	少々
塩	少々
ゴボウ	1本
衣	
・薄力粉	大さじ4
・卵白	1/3コ
・冷水	大さじ2
・塩	少々
薄力粉	少々
レモン	1/2コ
揚げ油	適量

作り方

参考：ポブとアンジーHP

- (1) サワラは1.5～2cmの棒状に切り、酒、塩をふりかけます。
- (2) ゴボウは大きめのさきがきにして水にさらし、水気を切ります。
- (3) 薄力粉、卵白、冷水、塩を合わせ、衣を作ります
- (4) (1)の水気を拭いて薄力粉をまぶし、(3)の衣を付けたあと、全体に(2)を付けてカリと揚げます。

ベリタス病院ニュースが100号に！

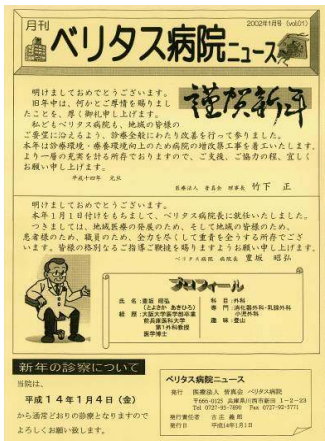
ベリタス病院ニュースの発行が今号を持ちまして、ついに100号目となります。100号と言えば8年以上の長期間で、これだけの長期間毎月休まず発行できたのも皆様のおかげと感謝しております。

病院のことをもっと皆様に知っていただこうと、広報誌の発行を決めたのは、2001年末のことでした。広報誌の名前を「ベリタス病院ニュース」と決めるところまではスムーズに行きましたが、いざどのような記事を書こうかということになると、誰も経験が無かった為、大変苦労しました。他病院の広報誌を参考にしながら、やっとのことで第1号を2002年の1月に発行することが出来ました。当初はA3用紙の片面のみの印刷で白黒印刷、今見ると記事も少なく、十分に情報を伝えられたか反省すべきことの多い内容でしたが、その後

2004年5月の28号からはA3両面印刷に、2006年12月の59号からはカラー印刷にと、徐々に充実した内容になってきたと思っております。

今後とも、よりよい紙面の作成に努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

2006年12月 第59号よりカラー印刷となりました。



第1号 2002年1月発行でした。



2004年5月 第28号より両面印刷になりました。

ベリタス病院基本理念

1. 人間性のある真心のこもった医療
2. 優秀な医療技術
3. 安定した経営基盤
4. 安全な医療
5. 快適な医療環境

以上、5つのキーワードが互いにバランスよく作用しながら地域の皆様に信頼・愛される病院を目指します。

ベリタス病院ニュース

発行 医療法人 晋真会 ベリタス病院 広報委員会
〒666-0125 兵庫県川西市新田 1-2-23
Tel 072-793-7890 Fax 072-792-5771
HPアドレス <http://www.shinshinkai.jp/>
メールアドレス info@shinshinkai.jp

発行責任者 野崎 雅夫
発行日 平成22年5月1日